

モデル事業名	いすみ市“実践型まちづくり塾”創生プロジェクト ～新たな縁を礎とする“フォーラム型まちづくり支援隊”のしくみづくりに向けて～
活動団体名	いすみ市まちづくり推進協議会
ホームページ	
所属/ 担当者名	いすみ市まちづくり推進協議会 君塚正芳(協議会監事)
連絡先	0470-87-2761 masayoshi-k@kimizuka-net.co.jp
活動地域	千葉県いすみ市

### ● 活動地域の概要

千葉県の南東部に位置するいすみ市は、平成17年12月に誕生した新市である。現状では、少子高齢化の影響により、耕作放棄地や空き家の増加、里山の荒廃やコミュニティの崩壊が進みつつあり、各産業も衰退の一途をたどっている。

○いすみ市の人口(住民基本台帳登録人口)

昭和63年度末 44,574人

平成10年度末 44,701人

平成18年度末 43,201人

と、この18年間で1,373人減少している。

○年齢別の割合

#### 【15歳未満】

昭和63年度末 17.2%

平成18年度末 10.8%

と6.4ポイントと低下している。

#### 【65歳以上】

昭和63年度末 17.8%

平成18年度末 29.4%

と11.6ポイント上昇し、市民の約3人に1人が高齢者となっている。《貼付例》



【位置図】



【土地所有者の高齢化によって荒廃した谷津田】



【若い世代が都市部へ転出してしまった旧家】

### ● 活動地域の課題

都心から約100kmと気軽に訪れることができる距離にありながら、集客の仕組みが確立されていないことから観光客には素通りされているが、温暖な気候、里海・里山の自然、農産物や魚介類、特徴ある伝統文化やサーフポイント等の地域資源に恵まれていることが評価され、近年では移住・定住先として注目されつつあることから、地域の一体感(新旧住民の融和)の醸成と併せ、新たなコミュニティ創生を礎とする暮らしを楽しめる地域づくりが急務となっている。

### ● 活動の内容

#### ・平成21年度

地域の知恵・知識を集めて共有する機能を担う『実践型まちづくり塾』を創設し、多様な主体が参画する実証実験的な取組(=交流人口の増加を目指す事業)を通じて円滑な人間関係を築いていける行動や作法のあり方を検証し、その成果を蓄積することで一層の知恵・知識を高めるプラス方向の効果が生まれる循環活動を行う。また、志を同じくする人々の新たな「縁」と緩やかな連携を基盤にした地域づくりの担い手ファームとなる『フォーラム型まちづくり支援隊』の形成により、仲間作りと地域活力の結集を目指す。

## ● 活動の成果

・平成21年度

### 活動① 協議会の活動（地域を活用した活性化事業）

- ◎ 既往地域活動団体の特徴・活動実績の取りまとめと、まちづくりに対するニーズ・参加意向をアンケートを通じて把握、今後のまちづくり活動の方向性を確認した（市内で活動している数多くの市民活動団体とのワークショップを開催）。
- ◎ 地域住民の本市への愛と誇りの醸成、まちづくりへの参加意識の高揚を目指した情報発信事業の実施（市民参加によるプロモーション短編映画の作製・配信等）



協議会での討議の様子

### 活動② 実践型まちづくり塾の開催（知恵・知識の共有）

- ◎ 地域事情に精通する地域づくりの専門家らをコーディネーターとするまちづくり塾の開催（地域づくり実践論の研究、実証実験の結果を踏まえたいすみまちづくり作法・行動学の構築等）。
- ※ “協働” は、構成員の間にコミュニケーションの作法と行動ルールがあつてこそ始めて機能するとの体験的な認識に基づきこのような学習の場を用意した。



まちづくり実践塾の様子

### 活動③ フォーラム型のまちづくり支援隊の展開に向けての研究

- ◎ [新たな縁の創出と連携手法についての研究] まちづくり実践塾と実証実験への参加を通じて広まった活動の輪を、『フォーラム型のまちづくり支援隊』として（多様な温度を許容する）柔軟で緩やかな地域づくり推進組織づくりへと展開することを目指して、まちづくりフォーラムを開催した。



市民団体との意見交換の様子

### 活動④ 蓄積した知恵・知識を活かした実践活動（実証実験の実施）

[伝統地域文化の発信と地域案内人の育成]

- ◎ 文化財や祭りなど伝統・地域文化を交流資源として学び、それを活用して集客を实践するため「武志伊八郎信由」の彫刻などの文化財やそれらを育ててきた生活風土に関する「いすみガイドブック（＝解説書・教科書）」を作成、それをテキストにして地域案内人の育成を行なった。



伊八ガイドブック

[いすみツーリズムの実施]

- ◎ 本市ならではの体験プログラムの確立と移住も見込める固定客を獲得するため総括的取組みとして、本協議会が中心となって地域の団体間の連携関係を構築し、各団体が展開する農作業体験や、郷土料理作成体験など、地域資源を活かした“いすみツーリズム（1泊2日程度）”を定住促進に関心のある旅行会社等の支援・協力を得て、企画・実施した。



ツーリズムの様子

## ● 今後の課題及び展望

### ・課題

市内で活動している数多くの市民活動団体とのワークショップ（フォーラム）を通じて、方向性や特徴、ニーズ等の把握をしてきたが、イベントによるまちづくり力の結集は見られるものの、一過性（疲弊）の傾向が感じられ、持続性・まちづくりに対する造詣にまでは至っていない。

持続可能な協働型まちづくりの仕組みを完成させることはできなかった。

### ・展望

まちづくり実践塾と実証実験への参加を通じて広まった活動の輪を、沙龙的な雰囲気の中で『フォーラム型のまちづくり支援隊（多様な温度を許容する）』として育成するとともに、わかりやすいイベントを適切な時期に開催することで、仲間・ネットワークの拡大を図りつつ、柔軟で緩やかな地域づくり推進組織づくりへと展開する。